

ジオタグ画像の位置をベクタに変換する

ご存知でしたか?... ジオタグ画像データベースのピンマップをポイント要素を持つベクタオブジェクトに変換することができます。

ジオタグ画像の位置をベクタオブジェクトに変換することで...

- ジオタグ画像データベースからベクタオブジェクトのポイント要素を作成できます。
- ポイントとデジタル画像の間の直接的なアタッチメントを保てます。
- 全てのピンに対してポイントデータベースを生成できます。
- 必要なら、連続するポイント間にラインを生成できます。
- ベクタ形式にすると、テーマや属性、画像のサムネイルによるスタイル設定ができます。

「データベース→ベクタ変換 (Database To Vector Conversion)」処理を開きます。

クリックしてデータベースを選択します。

ジオタグ画像を持つテーブルを選択します。

必要なら、選択したジオタグ画像データベースから自動設定される座標参照系を変更します。

このトグルをオンにすると、連続するベクタポイント間にラインを生成します。

[Generate Lines (ラインの生成)] トグルをオンにしたときのみ、設定が可能です。

ポイントの順番を指定するデータベースフィールドを選びます。

このトグルがオンになっている時、座標がないポイントを除外します。(オフの場合は0,0が割り当てられます。)

左に示したベクタポイントは、ジオタグ画像データベースから変換されたもので、画像のサムネイルによるスタイルが設定されています。

ジオタグ画像の位置をベクタに変換する方法

- [ツール > ジオタグ画像データベースの作成 (Create Geotagged Image Database)] を使って、デジタル写真にジオタグを付けます。
- メニューバーから [変換 > データベース→ベクタ ... (Database to Vector...)] を選んで、〈データベース→ベクタ変換〉ウィンドウを開きます。
- [データベース (Database)] ボタンをクリックして、ジオタグ画像データベースを選択します。
- テーブルメニューからジオタグ画像を選択します。
- 必要ならデフォルト設定を変更して [実行 ... (Run...)] ボタンをクリックします。
- プロンプトが出たら新規ベクタオブジェクトを作成します。

さらに知りたいことがあれば...

以下のテクニカルガイドをご覧ください：デジタル写真：
写真テーブルをポイントベクタに変換する
(Convert Photo Table to Vector Points)

